

コロナに 負けない京都企業

新型コロナウイルスの感染が収束する見通しが立たず、多くの事業所の皆さんが厳しい経営環境に置かれています。ライフスタイルの変化や、対面販売などが制約される中、消費者のニーズに対応したビジネスに変えていくことが求められています。

「落ち込んでばかりでなく、先を見据えて動かなければならない」。さまざまな支援メニューを活用しながら、新たな一步を踏み出す会員企業の方々を紹介します。



カット九条葱を製造している。販売先の好みに合わせ、カット長を微調整したり、特定の専属農家の葱だけを納品したりするなど、細やかなサービスに定評がある。

取引先は外食関連業が多いためコロナ禍で売上は激減した。「精神的にもガクツと落ち込みました。でも人間は食べなきゃ生きていけない。外食できないなら内食に需要が動いたはず！」と寺松孝文さん。家庭ではどんなシーンで食べるのか、どう調理されるのかと消費者のライフスタイルを熟考し、商品軸の仕切り直しを決断。内食ターゲットの新商品でスーパーマーケットのバイヤー



外食から内食への需要変化に合わせ
消費者ニーズにフォーカスしたカット「九条葱」メーカー

★株式会社 京翠

にアップローチをかけた。

「カットが0.1ミリ違えば葱の食味は変わりますし、青い部分と白い部分のバランスも重要」と寺松さん。内食にフォーカスした商品の売上はアップ。この逆風の中にも「増量キャンペーン」など、消費者が喜ぶ工夫も行った。また、消費者の声やキャンペーン時の店頭の写真を生産者にも共有して、作り手のモチベーションが高まるよう気をつけている。

外食向け商品も新たな挑戦を始めた。今までは1キロ単位での販売だったが、営業時間短縮などで使用量が減ってもフードロスが出ないよう、注文しやすい200グラム単位での販売を開始。手作業だった袋詰めを、「ものづくり補助金」で導入した機械に切替えて効率化を図るなど、取引先の負担にならないよう単価を上げない努力を続ける。

「喜びを共有して、生産・加工・販売に携わる全ての人と人の絆を育てていきたい。一枚岩で頑張ればビジネスに夢もてるはず」と寺松さんの見つめる未来は明るい。

株式会社 京翠

代表／寺松 孝文

住所／京都市南区吉祥院嶋川原田町15番地1

事業／農作物生産・加工販売

<http://www.kyoto-kyosui.com/>

★株式会社京はやし

コロナ禍で苦境の飲食店とコラボ
Win-Winの関係で共に新しい勝負に挑む



ながら、幼い息子とともに店頭に立った。地元の方をはじめ、出前時代のお客様や駅弁ファンも来店。店前はお客様であふれ、「ずっと続けてほしい」という声もたくさんもった。

一般顧客への販売にチャンスを感じ、工場の向かいに販売専用の店舗を作ることにした。外出が気軽にできない日常に、少しでも楽しみを感じてもらえるお店にしたいとの思いから「地域のデパ地下」をコンセプトにした。そこで、コロナで打撃を受けている飲食店と協力し、洋食・パスタ・中華・お好み焼・うどん・カレー……様々なブランドを揃え、出品店の看板を並べ、堂々オープン。来店されたお客様の反応を見て勝機を確認した。

「まだまだコラボブランドを増やし、いつ行っても新鮮で楽しい店をつくりたい」と林幸平さん。西大路御池・長岡天神にも店舗をかまえ、現在4店舗目を準備中だ。「京都で弁当」といえば弁当村が一番に思い浮かぶことを目標に、新規ブランドやメニュー開発に動いている。

株式会社京はやし
代表/林幸平
住所/京都市右京区太秦北小路25-17林ビル
事業/食品の製造・加工・販売
http://www.hokusai-kyoto.co.jp/

★株式会社サンコウ

新たな事業の柱としてオリジナルTシャツブランドと
アンテナショップを立ち上げ



以前からデザインやイラストを描ける身近な人たちと、一枚一枚つくってきたオリジナルTシャツに目を留めた。

これまでのB to Bの事業に、B to Cをプラスしようと、オリジナルデザインのTシャツをブランド化しようと決めた。一番悩んだのは、どういったコンセプトにするか。悩んだ末、森本さんが元々アウトドア好きだったこと、昨今のアウトドア需要の急増も踏まえ、「かわいいアウトドア」をコンセプトに決めた。半年ほどかけて社屋の一部をDIYの上手なスタッフが大掛かりにリノベーションし、木を生かしたあたたかみのあるショップスペースが誕生。一般のお客様も気軽に入ることができるようアンテナショップとして、2021年からTシャツの販売や、印刷の注文を受け付けている。

また、持続化補助金を活用して新たにECサイトをスタート。SNSの活用はもろろんのこと、シルクスクリーン版の新たな活用方法についても積極的に考えつつつけている森本さん。「やってみたいとわからない」の精神でコロナ禍という荒波を乗り越えていくはずだ。

株式会社サンコウ
代表/森本克彦
住所/京都市南区久世中久世町3-17
事業/捺染用シルクスクリーン製の製造販売
オリジナルプリントのデザイン企画販売
http://www.sanko-kyoto.com/

ワクチン接種事業を実施
会員の皆様の事業継続をサポート

本所では8月10日より、京都市と連携し、事業継続に努められている会員企業の経営者や従業員の皆様を対象にしたワクチン接種事業をスタートしました。医療従事者の協力により、9月末までの約2か月間、本所会議室を会場に、感染防止対策を徹底しながら、1万1千人分の接種を実施。会員の皆様の安心・安全と、ワクチン接種を加速化することで、一日も早い社会経済活動の正常化を目指しています。また、感染拡大を未然に防ぐとともに、従業員の皆様の健康管理を行うことを目的に、新型コロナウイルスを検知できる抗原検査キット(研究用試薬)を有償で提供。多くの会員の皆様からお申込みをいただき、およろこびいただいています。



支援メニュー(補助金)情報

新型コロナウイルスの影響を受けた環境の変化に対応するために活用できる補助金を紹介します。詳しくはホームページでご確認ください。

★小規模事業持続化補助金

一般型

小規模事業者等が経営計画を策定して取り組む販路開拓等の取組を支援
●補助額: 上限50万円 ●補助率: 2/3 ●補助対象: 店舗改装、チラシ作成、広告掲載など



低感染リスク型ビジネス枠

小規模事業者等がポストコロナ社会に対応したビジネスモデルへ転換する取組、感染防止対策費(消毒液購入費、換気設備導入費等)の一部を支援
●補助額: 上限100万円 ●補助率: 3/4
●補助対象: 対人接触機会の減少を目的としたテイクアウト・デリバリーサービス導入、ECサイト構築など



★事業再構築補助金

新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編またはこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦を支援



★ものづくり・商業・サービス補助金

中小企業等が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援
●補助額: 上限1,000万円(一般型※低感染リスク型ビジネス枠含む)
 上限3,000万円(グローバル展開型)
●補助率: 1/2(低感染リスク型ビジネス枠・小規模事業者は2/3)
●補助対象: 機械装置の購入、システム構築費、試作品開発に必要な原材料購入など

